

資産運用の読み物



経済・投資のあんちよこ

VOL.23

確定拠出年金を活用するメリットって何？

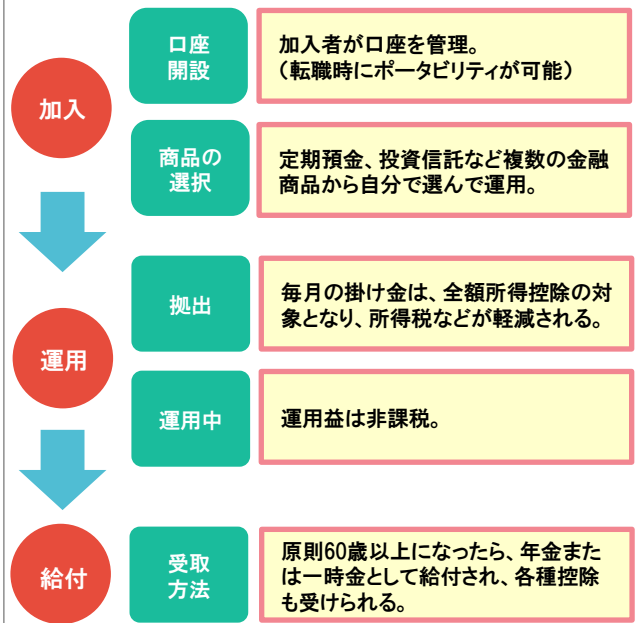
今回の話題

公的年金を補完する制度として、2001年に始まったのが確定拠出年金制度(DC)です。現在、導入企業が増えていますが、導入していない企業で働く人や個人事業主も金融機関を通じて自主的に加入できるため、DCを活用する人が増加しています。さて、活用すると、どんなメリットがあるのでしょうか。

掛け金・運用益・受取金の税制が優遇

- 国民年金や厚生年金といった公的年金は政府が運用してくれるのに対し、DCは加入者が自分で口座を管理し、自分で運用する制度です。
- 運用する金融商品は、元本確保型の定期預金や投資信託など複数の中から自由に選べます。個人で口座を管理しますから、自分の運用状況を把握しやすく、転職時もそのまま持ち出して転職先で運用を続けることができます。
- DCを活用する大きなメリットは、税制の優遇です。拠出時の掛け金は全額所得控除の対象となりますから、所得税などが軽減されます。さらに運用益は非課税であるほか、年金・一時金の受け取り時にも各種控除が受けられます。
- DCは原則60歳まで引き出せませんので、長期投資が前提です。また、DCにラインナップされている投資信託は信託報酬が低く設定されていることが多いため、DCは運用期間中のコストを抑えながら老後の資産形成を進めることができます。

■確定拠出年金制度の特徴



DCは「Defined Contribution」の略です。アメリカの年金制度「401kプラン」を参考にしているため「日本版401k」とも呼ばれます。



Point

拠出時・運用時・受取時のそれぞれの税制優遇を生かしながら、自らの選択により老後の資産形成を進めることができます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。